

2018年4月1日

ネットトヨタ東京(株) 社内改善チーム

自社開発のITツール『DEKIRU』と『MIERU』稼働

ネットトヨタ東京株式会社(社長 片山 守、以下ネット東京)は、社内改善チームの開発したITツールを導入した。

一般的なシステム会社が開発するITツールとの大きな違いは、トヨタ自動車(株)が開催するTSL(トヨタセールスロジスティクス)研修に参加したメンバーが、トヨタ改善活動における行動の基本「お客様第一」「現地現物」をモットーに、お客様やスタッフの困りごとなど、起きている課題を現地で徹底的に調査、そして「あるべき姿」実現のためのサポートツールとして開発してまいりました。

今回は4月より導入した2つのITツールをご紹介します。

◆ITツール名『DEKIRU』(デキル)

お客様と一緒に商談テーブル設置のタッチパネルにてスピーディーに情報確認することで、ご購入いただいたお車の登録と下取りに必要な書類を正確にご案内できる(ヒューマンエラー防止)他、お預かりした大切な書類を適正に管理、次工程へ送付できる仕組み(紛失防止)も兼ね備えている。



- ① 必要な書類が判断できる
- ② 簡単に書類を送付できる
- ③ 誰もが親切対応ができる

Documents	(重要な書類を)
Easy and Kind	(簡単に)
Improved sending and Receiving from User	(親切な対応)
	(改善された送付と受け取り)
	(お客様からの)

◆ITツール名『MIERU』(ミエル)

U-Car 展示車情報に加え、今後の商品予定である全下取り情報をデータベース化(ペーパーレスによる見える化)。これにより、各店舗で品揃え豊かな展示が可能になり、更にお客様のご要望に応じて商品予定も含めたご提案が可能になった。又、このデータベースを活用することによりスタッフ業務の一部を自動化するなどスタッフの負荷軽減にも寄与している。



- ① 全下取り情報がみえる
- ② 展示予定がみえる
- ③ 在庫情報がみえる

Management Information disseminat Enable Retail and wholesale Useful tool	(U-Car の鮮度管理を)
	(情報発信により)
	(可能にする)
	(小売も卸売も)
	(役立つツール)

(お問い合わせ先) 経営企画部 小本 TEL : 03-6400-6856